

日蓮大聖人御書全集

しやかごしよりようごしよ

釈迦御所領御書

新版
2139

しやかごしよりようごしよ

釈迦御所領御書

おう

用

ほとけ

ちじん

てんじん

しようにん

ろん

勝

王これをもちいず。仏、地神・天神を証人として論じか

たま

せかい

われ

ほんし

しやかによらい

たせ給いたりき。されば、この世界は我らが本師・釈迦如来

ごしよりよう

ししゆ

ぶつでし

の御所領なり。されば、四衆ともに仏弟子なれども、

うばそく

うばい

ぶつでし

げどう

似

びく

優婆塞・優婆夷は仏弟子なれども外道にもにたり。比丘・

びくに

ほとけ

しんし

だいひきよう

だいぼんてん

比丘尼は仏の真子なり。されば、大悲経には、大梵天・

だいろくてん

たいしやく

しだいてんのう

にんのうとう

いちいち

召

さんぜん

第六天・帝釈・四大天王・人王等を一々にめして、三千

だいせんせかい

しだい

讓

たま

い

せかい

りようち

大千世界を次第にゆずり給いて云わく、この世界を領知し

わ

しんし

びくびくに

くよう

よし

説

たま

て我が真子・比丘比丘尼を供養すべき由をと給いき。そ

とき ぼんてん たいしやくとう あお おお したが
の時、梵天・帝釈等、仰いで仰せに随いにき。

また、正直捨方便の法華経の譬喩品に云わく「今この

さんがい みな わ う なか しゅじよう
三界は、皆これ我が有なり。その中の衆生は、ことごとく

わ こ とううんぬん もん さんがい
これ吾が子なり」等云々。この文のごとくならば、この三界

みな しゃかによらい ごしよりよう じゆりようほん い われ つね
は皆、釈迦如来の御所領なり。寿量品に云わく「我は常に

しゃばせかい あ とううんぬん もん ないおう
この娑婆世界に在り」等云々。この文のごとくならば、乃往

か こごひやくじんてんごう しゃばせかい しゃかによらい
過去五百塵点劫よりこのかた、この娑婆世界は釈迦如来の

ごしんたい こくど うえ ほとけめつごいつびやくねん あいくだいおう もう
御進退の国土なり。その上、仏滅後一百年に阿育大王と申

おう なんえんぶだい さんど そう ふぞく たま
す王おわしき。この南閻浮提を三度まで僧に付嘱し給いき。

またこの南閻浮提の内の大日本国をば、尸那国の南岳大師、

くに

じょうぐうたいし

う

くに

しゆ

たま

この国の上宮太子と生まれて、この国の主となり給いき。

しょうとくたいしいご

しよおう

みな

なんがくだいし

まつよう

しかれば、聖徳太子已後の諸王は皆、南岳大師の末葉なり。

かんむてんのういげ

しよおう

さんのう

桓武天皇已下の諸王は、また山王。